

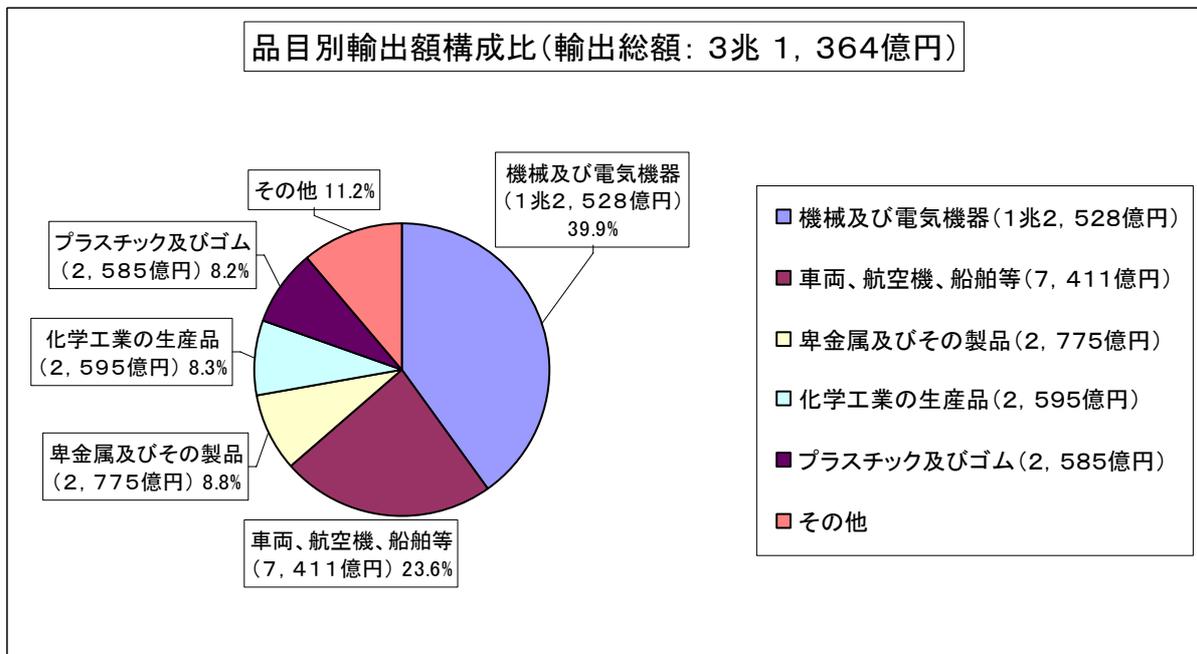
福岡県の輸出概況

(1) 概況

門司及び長崎税関資料に基づき、平成 17 年の福岡県内の港（門司、苅田、戸畑、博多、三池）及び福岡空港における輸出状況をみると、次のとおりである。平成 17 年の本県の輸出総額は、3 兆 1,364 億 1,900 万円、前年比 3.4%増で、前年に引き続きプラスとなった。

(2) 品目別輸出動向

品目別構成で見ると、「機械類及び電気機器」（1 兆 2,528 億円）が最も多く輸出全体の 39.9%を占めている。次いで、「車両、航空機、船舶等」が 23.6%（7,411 億円）、「卑金属及びその製品」が 8.8%（2,775 億円）、「化学工業の生産品」が 8.3%（2,595 億円）、「プラスチック及びゴム」が 8.2%（2,585 億円）と続いている。



(3) 港別輸出動向

港別の輸出額は、博多港が 9,228 億 8,900 万円（前年比 8.8%減）、福岡空港が 7,695 億 500 万円（前年比 22.4%増）、苅田港が 5,350 億 7,200 万円（前年比 0.1%減）、門司港が 5,189 億 3,400 万円（前年比 7.0%増）、戸畑港が 2,846 億 3,300 万円（前年比 19.4%増）、三池港が 1,053 億 8,600 万円（前年比 21.4%減）の順であった。

港別の特徴で見ると、博多港は「半導体等電子部品」、福岡空港は「半導体等電子部品」、苅田港は「自動車」、門司港は「一般機械」、戸畑港は「鉄鋼」、三池港は「船舶類」の輸出ウエイトが高い。

(4) 地域別輸出動向

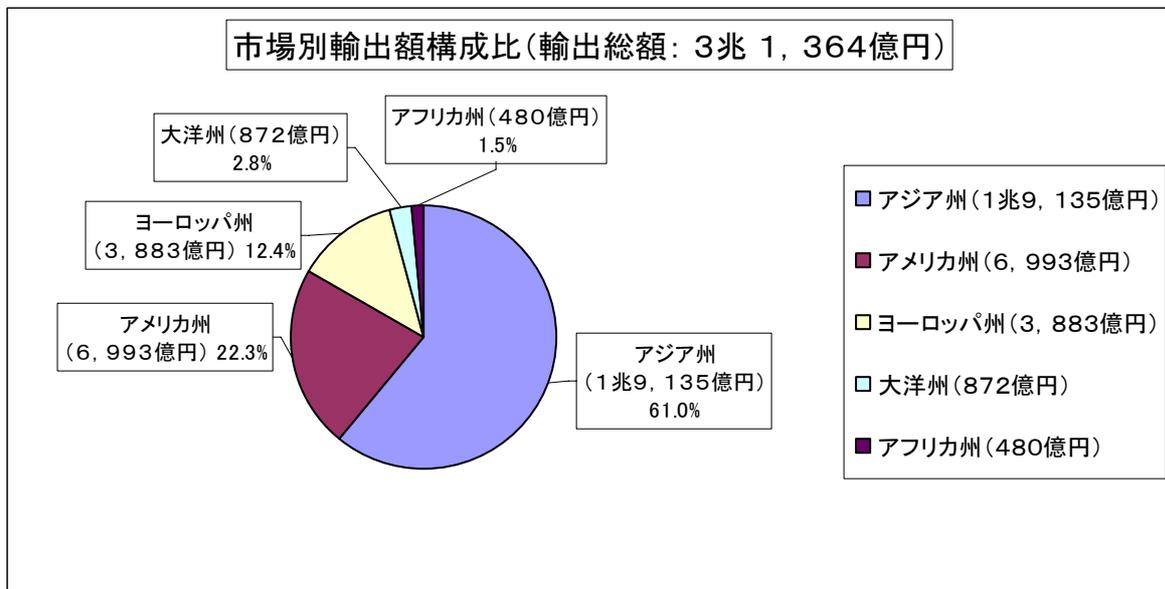
輸出先別で見ると、アジア州への輸出が最も多く1兆9,135億円で、全体に占める割合は61.0%となった。主な相手先は、大韓民国(3,892億円、同12.4%)、中華人民共和国(3,773億円、同12.0%)、台湾(3,072億円、同9.8%)、香港(1,953億円、同6.2%)、シンガポール(1,295億円、同4.1%)である。

アメリカ州への輸出は6,993億円となり、全体に占める割合は22.3%となった。主な相手先はアメリカ(5,159億円、同16.4%)である。

ヨーロッパ州への輸出は3,883億円となり、全体に占める割合は12.4%となった。主な相手先はドイツ(948億円、同3.0%)、イギリス(419億円、同1.3%)、フランス(376億円、同1.2%)である。

大洋州への輸出は872億円となり、全体に占める割合は2.8%となった。主な相手先はオーストラリア(763億円、同2.4%)である。

アフリカ州への輸出は480億円となり、全体に占める割合は1.5%となった。



福岡県内港上位輸出国(地域)順位

金額単位:百万円

順位	2003年		2004年		2005年		
	国(地域)名	輸出額	国(地域)名	輸出額	国(地域)名	輸出額	構成比(%)
1	アメリカ合衆国	594,745	アメリカ合衆国	596,918	アメリカ合衆国	515,913	16.4
2	大韓民国	260,069	中華人民共和国	343,200	大韓民国	389,164	12.4
3	中華人民共和国	239,558	大韓民国	329,001	中華人民共和国	377,284	12.0
4	台湾	226,799	台湾	274,008	台湾	307,203	9.8
5	香港	149,256	香港	170,782	香港	195,309	6.2
6	タイ	115,295	タイ	124,470	シンガポール	129,535	4.1
7	シンガポール	113,764	シンガポール	119,321	フィリピン	126,565	4.0
8	フィリピン	103,602	フィリピン	111,959	タイ	118,896	3.8
9	ドイツ	101,866	ドイツ	90,775	ドイツ	94,765	3.0
10	マレーシア	83,617	マレーシア	85,574	マレーシア	79,981	2.6
11	オーストラリア	70,837	オーストラリア	83,614	オーストラリア	76,261	2.4
12	イギリス	54,632	カナダ	60,715	メキシコ	60,133	1.9
13	カナダ	46,401	メキシコ	47,718	カナダ	56,291	1.8
14	メキシコ	44,504	インドネシア	44,880	アラブ首長国連邦	45,644	1.5
15	オランダ	42,164	イギリス	41,302	インドネシア	42,823	1.4
	上記以外	474,739	上記以外	509,096	上記以外	520,652	16.6
	合計	2,721,848	合計	3,033,333	合計	3,136,419	100.0

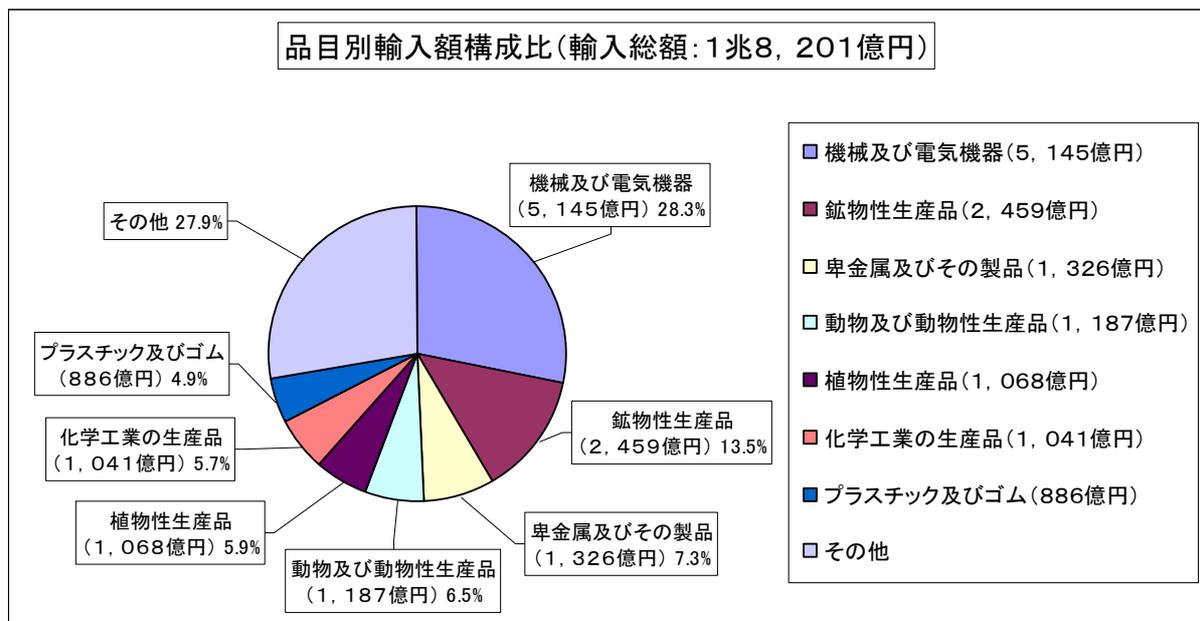
福岡県の輸入概況

(1) 概況

門司及び長崎税関資料に基づき、平成 17 年の福岡県内の港（門司、苅田、戸畑、博多、三池）及び福岡空港における輸入状況をみると、次のとおりである。平成 17 年の本県の輸入総額は、1 兆 8,200 億 5,600 万円、前年比 20.5%増で、前年に引き続きプラスとなった。

(2) 品目別輸入動向

品目別構成で見ると、「機械類及び電気機器」（5,145 億円）が最も多く輸入全体の 28.3%を占めている。次いで、「鉱物性生産品」が 13.5%（2,459 億円）、「卑金属及びその製品」が 7.3%（1,326 億円）、「動物及び動物性生産品」が 6.5%（1,187 億円）と続いている。



(3) 港別輸入動向

港別の輸入額は、博多港が 6,694 億 3,300 万円（前年比 20.2%増）、門司港が 4,920 億 8,700 万円（前年比 15.3%増）、福岡空港が 3,918 億 5,100 万円（前年比 26.9%増）、戸畑港が 2,153 億 2,500 万円（前年比 28.2%増）、三池港が 409 億 8,800 万円（前年比 1.1%増）、苅田港が 103 億 7,200 万円（前年比 18.6%増）の順であった。

港別の特徴で見ると、博多港は「魚介類及び同調製品」、門司港は「電気機器」、福岡空港は「半導体等電子部品」、戸畑港は「石炭」、三池港は「はき物」、苅田港は「石炭」の輸入ウエイトが高い。

(4) 地域別輸入動向

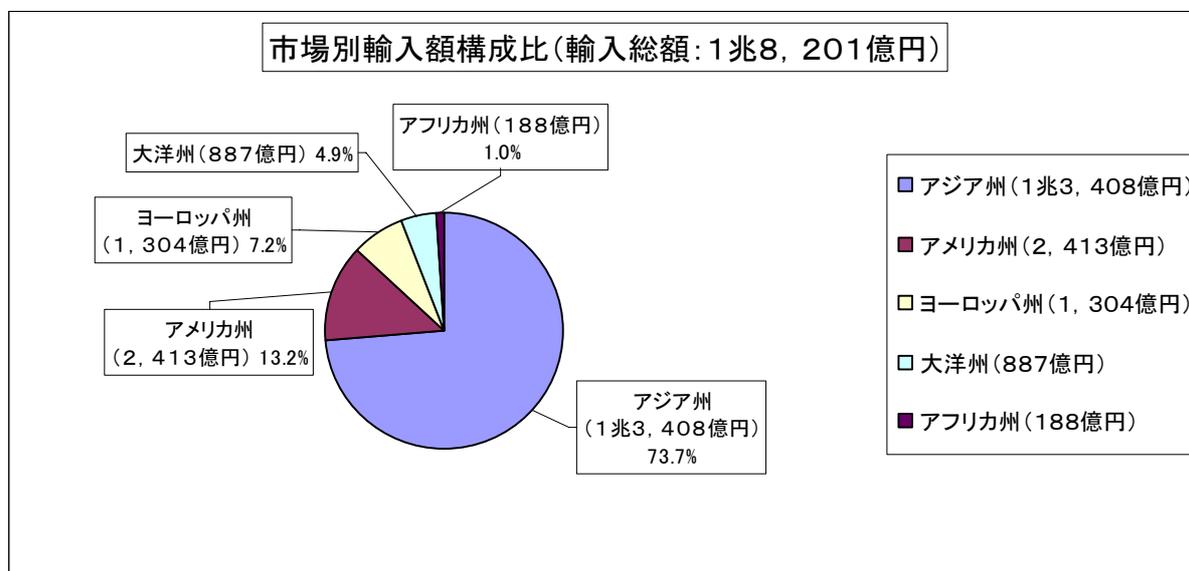
輸入先別で見ると、アジア州からの輸入は最も多く1兆3,408億円で、全体に占める割合は73.7%となった。主な相手先は、中華人民共和国(5,373億円、同29.5%)、大韓民国(2,166億円、同11.9%)、台湾(1,618億円、同8.9%)、インドネシア(1,381億円、同7.6%)、タイ(1,270億円、同7.0%)、マレーシア(546億円、同3.0%)である。

アメリカ州からの輸入は2,413億円となり、全体に占める割合は13.2%となった。主な相手先はアメリカ(1,541億円、同8.5%)である。

ヨーロッパ州からの輸入は1,304億円となり、全体に占める割合は7.2%となった。主な相手先はロシア(351億円、同1.9%)、ドイツ(270億円、同1.5%)である。

大洋州からの輸入は887億円となり、全体に占める割合は4.9%となった。主な相手先はオーストラリア(778億円、同4.3%)である。

アフリカ州からの輸入は188億円となり、全体に占める割合は1.0%となった。



福岡県内港上位輸入国(地域)順位表

金額単位: 百万円

順位	2003年		2004年		2005年		
	国(地域)名	輸入額	国(地域)名	輸入額	国(地域)名	輸入額	構成比 (%)
1	中華人民共和国	385,678	中華人民共和国	457,022	中華人民共和国	537,276	29.5
2	大韓民国	168,120	大韓民国	155,430	大韓民国	216,572	11.9
3	アメリカ合衆国	138,395	アメリカ合衆国	130,394	台湾	161,764	8.9
4	タイ	108,400	タイ	115,426	アメリカ合衆国	154,113	8.5
5	インドネシア	101,055	インドネシア	114,498	インドネシア	138,082	7.6
6	台湾	70,632	台湾	104,151	タイ	127,040	7.0
7	オーストラリア	55,540	オーストラリア	59,116	オーストラリア	77,842	4.3
8	フィリピン	50,530	マレーシア	52,018	マレーシア	54,558	3.0
9	マレーシア	49,379	フィリピン	44,208	フィリピン	37,081	2.0
10	カナダ	23,068	ロシア	37,144	ロシア	35,124	1.9
11	ロシア	22,044	カナダ	24,531	カナダ	27,303	1.5
12	ドイツ	18,246	ドイツ	20,022	ドイツ	26,983	1.5
13	ベトナム	13,949	ブラジル	16,823	チリ	21,207	1.2
14	ブラジル	11,942	ベトナム	16,319	ブラジル	20,887	1.1
15	シンガポール	11,850	インド	14,662	ベトナム	19,913	1.1
	上記以外	125,646	上記以外	148,125	上記以外	164,311	9.0
	合計	1,354,474	合計	1,509,889	合計	1,820,056	100.0

福岡県の貿易の位置付け

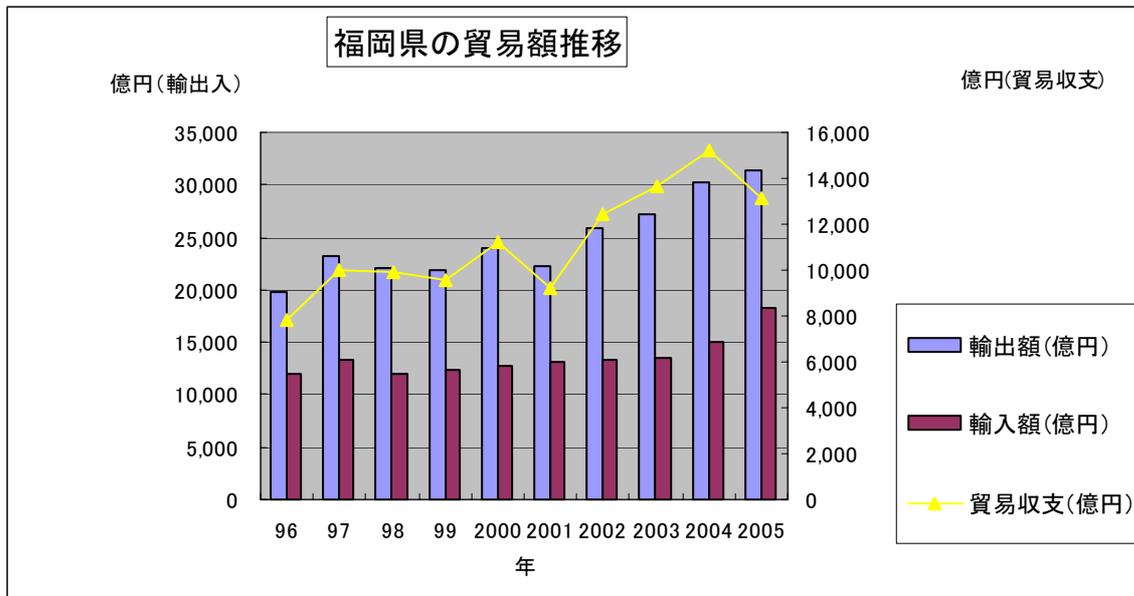
(1) 輸出入バランス

2005年の日本の貿易額（通関ベース）は、円ベースでは、輸出が前年比7.3%増の65兆6,565億円、輸入が前年比15.7%増の56兆9,494億円で、貿易黒字は、前年から3兆2,462億円減の8兆7,072億円であった。

輸出は2004年には前年比12.1%増であったが、2005年は増加が鈍化した。一方、輸入は堅調に増加し、その結果、貿易黒字が減少した。

これに対し、福岡県の貿易は、輸出が前年比3.4%増の3兆1,364億円となり、4年連続のプラスとなった。一方、輸入は前年比20.5%増の1兆8,201億円となり、7年連続のプラスとなった。

この結果、輸出入の貿易バランスは出超基調で推移しているが、1兆3,163億円と前年に比べると13.6%減となっている。



(2) 地域別輸出入動向

<日 本>

2005年の輸出を国・地域別で見ると、1位アメリカ、2位中国となっている。

アジア州への輸出は、前年比7.7%増の33兆6,516億円となった。その中でも、中国は前年比10.5%増の8兆8,369億円で、シェアは13.5%へと拡大した。

アメリカ向け輸出は堅調に推移し、前年比7.8%増の14兆8,055億円で、シェアは22.5%となった。

ヨーロッパ州向けは前年比2.4%増の10兆8,403億円となり、シェアは16.5%となった。

2005年の輸入では、アジア州からの輸入は、前年比20.5%増の34兆9,943億円となった。中国からの輸入は、前年比17.4%増の11兆9,754億円で、前年に引き続きトップであり、シェアは21.0%に伸びた。一方、アメリカからの輸入は前年比4.6%増の7兆743億円となった。ヨーロッパ州からの輸入は、前年比4.2%増の7兆9,291億円となった。

<福岡県>

これに対し、福岡県の輸出を国、地域別で見ると、アジアへの輸出額が高くなっているのが分かる。アジア州への輸出額は前年比 10.6%増の 1 兆 9,135 億円で、1,832 億円の増加となり、輸出額全体に占めるアジア州の割合は前年比 7.0%増の 61.0%となった。

ヨーロッパ州への輸出も増加しており、前年比 3.5%の増の 3,883 億円で、133 億円の増加となった。一方、アメリカ州への輸出は前年比 10.4%減の 6,993 億円で、815 億円の減少となった。

また、国別では韓国への輸出が大幅に拡大し、前年比 18.3%増の 3,892 億円で、順位は 3 位から 2 位に上がった。

一方、輸入に関しても、日本全体の輸入額と同様に増加している。アジア州からの輸入割合が大きく全体の 73.7%を占め、前年比 21.7%増の 1 兆 3,408 億円で、2,387 億円の増加となっている。

また、欧米からの輸入も増加しており、ヨーロッパ州からの輸入は前年比 4.8%増の 1,304 億円で、60 億円の増加となり、アメリカ州からの輸入は前年比 21.7%増の 2,413 億円で、428 億円の増加となった。

国別では、台湾、シンガポールからの輸入額が大幅に増加しており、特に、台湾からの輸入は、前年比 55.3%増の 1,618 億円で、576 億円の増加となり、順位は 6 位から 3 位に上がった。

(3) 品目別輸出入動向

<日本>

2005 年の輸出は全般的に見ると、増加はしているが、伸び率は鈍化している。IT 製品の世界的な在庫調整により IT 輸出が減少したことに加え、世界経済の成長率が若干ながら鈍化したことなどが原因に挙げられる。

品目別にみると、資本財の中では、電気機器が前年比 1.2%増の 14 兆 5,492 億円、輸送用機器が前年比 7.7%増の 15 兆 1,973 億円、一般機械が前年比 5.9%増の 13 兆 3,524 億円となった。

商品別に見ると、電気機器では、半導体等電子部品が 2004 年には前年比 7.9%増であったのに対し、2005 年は前年比 0.1%増にとどまっている。また、映像機器（デジタルカメラやDVDプレーヤーを含む）は前年比 6.1%減となっている。一方、輸送機器では、自動車の前年比 7.8%増となっており、比較的好調であった。燃費に優れた日本車の需要が高まり、対米自動車輸出が増加に転じたことなどが原因と考えられる。

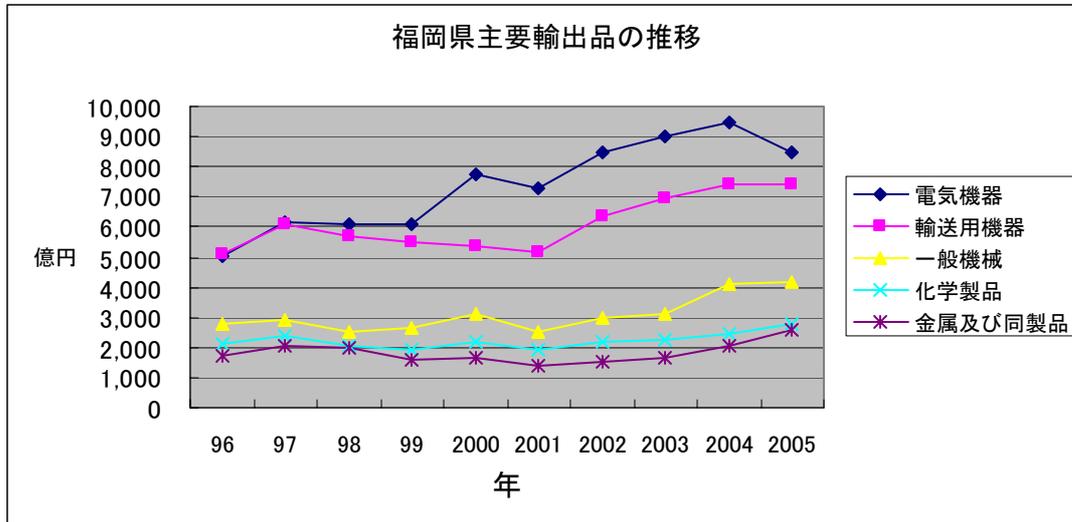
2005 年の輸入は全般的に堅調に増加している。

品目別に見ると、資本財の中では、電気機器が前年比 8.0%増の 7 兆 4,018 億円、一般機械が前年比 9.5%増の 5 兆 6,607 億円、輸送用機器が前年比 7.1%増の 2 兆 625 億円となった。

また、輸入総額の 25.6%を占める鉱物性燃料が前年比 36.4%増の 14 兆 5,597 億円と大幅に増加した。中でも、原油及び粗油が 45.5%増の 8 兆 8,233 億円となった。原油輸入価格の高騰が原因と考えられる。

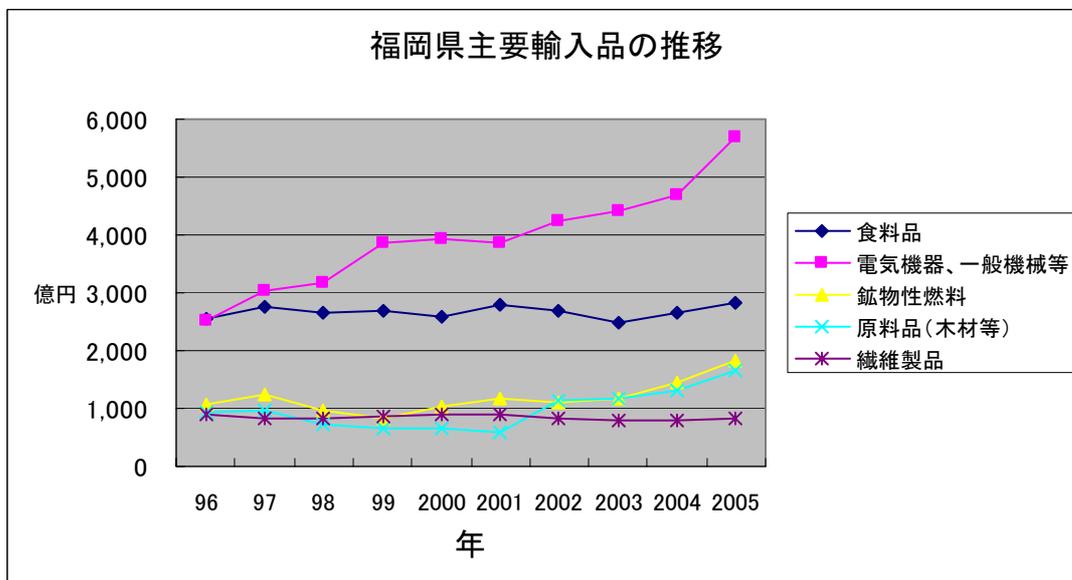
<福岡県>

これに対し、福岡県の主要品目別輸出額を見ると、電気機器が大幅に減少、輸送用機器も若干減少した。一方、一般機器、金属及び同製品、化学製品は昨年を引き続き、増加している。商品別に見ると全国と同じく、映像機器が前年比 57.2%減と大幅に減少している。



福岡県の主要品目別輸入額を見ると、全般的に増加しているが、特に電気機器・一般機械等は前年比 21.4%増の 5,695 億円となり、大幅拡大となった。

商品別に見ると、石炭が 31.4%増、音響・映像機器が 44.8%増と大幅に増加している。



* 「財務省ホームページ」、「平成 17 年（2005）外国貿易年表」（日本関税協会門司支部）、「平成 17 年（2005）外国貿易年表」（長崎税関）、「九州経済圏各県別の貿易（確定値）平成 17 年分」（門司税関）、「平成 17 年 12 月号 外国貿易概況」（日本関税協会）、「2006 年版 ジェトロ貿易投資白書」（ジェトロ）を基に福岡県にて編集